

りそな Asia時事フラッシュ

財政・金融ポリシーミックスが人民元の安心材料に

りそなHD 市場企画部
担当: 呉

財政・金融ポリシーミックス

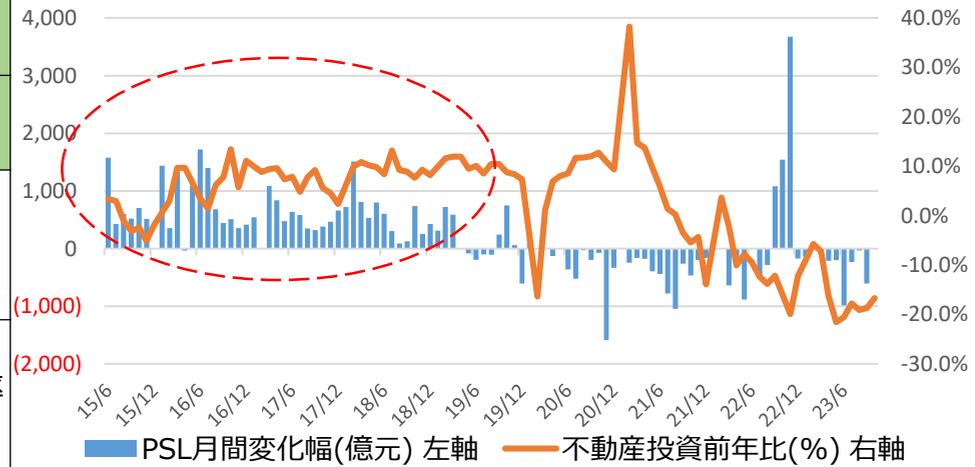
- 中国が財政・金融両面から景気支援策を強化している。10月24日に1兆元の特別国債発行が決定された。用途は防災関連インフラ建設であるが、国内需要を押し上げ、家計・企業の信頼感回復につながる効果が期待されている。過去に特別国債が発行されたのは、1998年に四大国有銀行の資本金補充のために2700億元、2007年に政府系ファンド設立のために1.55兆元、2020年にコロナショック対応のために1兆元で、今回は4回目の発行になる。中国の財政乗数は1.4-2.0の間にあるとされており、今回の特別国債発行はGDPを0.6%~0.8%押し上げる可能性がある。
- さらに、11月14日に住宅市場活性化のために中国人民銀行が1兆元以上の低金利資金供給を検討していると報じられた。担保付補完貸出(PSL)や特別融資が検討されており、PSLが市場参加者では有力視されている。当該金融政策ツールは2014年にPBOCによって創設された政策銀行向けの長期資金供給オペであり、特定分野(不動産、インフラなど)への融資を促進するものである。創設の目的は都市部のバラック地区住居改造を支援し、不動産セクターを安定化させるためであった。当時は住宅市場に過剰在庫があり、不動産投資が低迷していた。バラック地区住居改造の進行とPSLの支援により、住居の在庫が消化され、不動産投資も改善した(右下で点線で囲んでいる部分)。現在、低迷している不動産投資が中国経済の重しとなっているが、大規模なPSLが実施されれば、改善する可能性が相当高いだろう。ただし、2015年-2017年のバラック地区住居改造は不動産市場のバブルを助長したとの指摘もある。PSLが実施される場合、不動産セクターへの配分がどのくらいか今後注目される。

不動産セクターの安定が人民元の支援材料に

- 財政と金融のポリシーミックスは以下2点から人民元のサポート要因になると考えられる。1点目は、不動産セクターの安定化が考えられる。主要産業である不動産セクターの低迷が人民元の大きなネガティブ材料とされてきた。支援策の効果により、徐々にソフトランディングし、懸念が薄れていくだろう。2点目に中国経済への期待の改善が考えられる。今回の景気支援策の組み合わせは2023年だけではなく、2024年の成長目標にも配慮した政策と言える。投資家の信頼感回復による中国資産への資金流入が人民元買い材料になりやすいだろう。最近では米中関係に改善の兆しもみられており、人民元は対ドルで安定的な動きを見せるだろう。対円では、株高によるリスクセンチメント改善や日銀の政策修正に対する慎重な姿勢から、人民元円は底堅く推移するだろう。

主要な財政・金融ポリシーミックス

分類	決定/検討	項目	時期	金額(億元)	用途	推定効果
財政	決定	特別国債	2023 Q4	10,000	防災関連インフラ	GDPの0.6%~0.8%押し上げ
金融	検討	担保付補完貸出(PSL)	2023	10,000以上	保障性住宅建設、城中村改造、インフラ建設	社会融資伸び率約1%押し上げ



◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることがあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願いいたします。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。